



Cambridge International AS Level

CANDIDATE
NAME

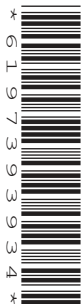
--

CENTRE
NUMBER

--	--	--	--	--

CANDIDATE
NUMBER

--	--	--	--



JAPANESE LANGUAGE

8281/02

Paper 2 Reading and Writing

October/November 2020

1 hour 45 minutes

You must answer on the question paper.

No additional materials are needed.

INSTRUCTIONS

- Answer **all** questions in **Japanese**.
- Use a black or dark blue pen. Do **not** use an erasable pen or correction fluid.
- Write your name, centre number and candidate number in the boxes at the top of the page.
- Write your answer to each question in the space provided.
- Do **not** write on any bar codes.
- Dictionaries are **not** allowed.

INFORMATION

- The total mark for this paper is 70.
- The number of marks for each question or part question is shown in brackets [].

指示

- 全ての問題に日本語で答えなさい。
- 黒または、こい青のペンを使うこと。消すことができるペンや、修正液は**使わないこと**。
- このページの上のほうにある空欄に氏名、センター番号、受験者番号を書きなさい。
- それぞれの問題に対する解答は、与えられた解答欄に書きなさい。
- バーコードには何も**書かないこと**。
- 辞書を使つてはいけません。

情報

- この試験の合計点数は70点です。
- 各問題の配点は [] に示されています。

This document has 8 pages. Blank pages are indicated.

セクション1

次の**文章**を読んで、**もんだい1、2、3**に答えなさい。

文章1

ロボットを着て歩こう！

うまく歩けなくなってしまった人をたすけるロボットができました。世界ではじめての **(a)** 着る ロボットで、「ロボット・スーツ」と言います。このロボットが本当にやくに立つ **(i)** かどうかしらべる実験が3月に始まりました。

私たちが「歩きたい」と思うとき、のうから**筋肉**に信号がおくり出されます。ロボット・スーツはこの信号を読みとって、自動的に動き出して、人が歩くのをたすけます。そのけっか、ロボットを使ったら、いつもよりスムーズに **(ii)** 動けます。このような自立感や安心感はお年よりにとって、とても大切です。でも、ロボットをみにつけるのは、ちょっとむずかしいです。それに、じょうぶに作ってあるので、重いです。また、安いものではありません。

63才の川本さんはロボットを着てみて、「体を動かそうと **(iii)** 思ったときに、ロボットが私の体を動かしてくれるのを感じました。いつもは歩くとすぐつかれてしまいましたが、つかれを **(iv)** 感じないで歩きました。そして同じ動作を **(b)** くりかえすこともできました。」と、よろこんで話していました。これからお年よりがふえていく日本では、生活を楽しむロボットはとてもありがたいものでしょう。

ロボットのけんきゅうをしているのは、つくば大学の山海教授です。はじめてロボットに興味を持ったのは、小学校3年生のときで、**(c)** 未来の世界について読んだ本がきっかけでした。山海教授は20年以上もかけてこのロボットを **(v)** 開発してきました。最近は大学の授業の数をへらして、ロボットの商品化を目ざして、会社を立ち上げました。山海教授は「**(d)** 工学は人にやく立つものでなければならない。科学者にとって、将来の可能性をゆめ見ることは大事だ。科学的な知識だけでは足りない。人にたいして **(e)** 思いやりを持つことも重要だ。」と強く信じています。



5

10

15

20

もんだい 1

(a)~(e)のことばはどういう意味ですか。最も近いと思うものに○をつけなさい。

(a) 着る

1	<input type="checkbox"/>	日本式にする
---	--------------------------	--------

2	<input type="checkbox"/>	目的地に来る
---	--------------------------	--------

3	<input type="checkbox"/>	体につける
---	--------------------------	-------

[1]

(b) くりかえす

1	<input type="checkbox"/>	あきらめる
---	--------------------------	-------

2	<input type="checkbox"/>	少し変える
---	--------------------------	-------

3	<input type="checkbox"/>	何回もする
---	--------------------------	-------

[1]

(c) ^{みらい}未来の

1	<input type="checkbox"/>	これからの
---	--------------------------	-------

2	<input type="checkbox"/>	これまでの
---	--------------------------	-------

3	<input type="checkbox"/>	これほどの
---	--------------------------	-------

[1]

(d) 工学

1	<input type="checkbox"/>	ジャーナリストになるための勉強
---	--------------------------	-----------------

2	<input type="checkbox"/>	エンジニアになるための勉強
---	--------------------------	---------------

3	<input type="checkbox"/>	マネージャーになるための勉強
---	--------------------------	----------------

[1]

(e) 思いやり

1	<input type="checkbox"/>	やさしさ
---	--------------------------	------

2	<input type="checkbox"/>	きびしさ
---	--------------------------	------

3	<input type="checkbox"/>	まじめさ
---	--------------------------	------

[1]

[合計点: 5]

もんだい 2

文中の (i) ~ (v) のひょうげんを使って、文を作りなさい。本文と同じ文を書いてはいけません。

^{れい}例 ~によると： 天気よほうによると、あしたは雨だ。

(i) かどうか (3行目)
..... [1]

(ii) ~られる (6行目)
..... [1]

(iii) ~とき (9行目)
..... [1]

(iv) ~ないで (10行目)
..... [1]

(v) ~てくる (17行目)
..... [1]

[合計点: 5]

もんだい 3

ぶんしょう
文章1を読んで、下のしつもんに日本語で答えなさい。本文をそのまま書き写してはいけません。

([] 中の数字がそのもんだいの点数です。正しい日本語を書いたら、さらに、最高5点まで点数が上がります。合計点 : $15 + 5 = 20$)

(a) このロボットは、人が歩くのをどのようにたすけますか。

.....
..... [2]

(b) ロボットを使って歩くと、どんないい点がありますか。

.....
..... [2]

(c) ロボットのもんだい点は何ですか。

.....
.....
..... [3]

(d) 川本さんはロボットを使って、どんなことができましたか。

.....
..... [2]

(e) ロボット・スーツを売るまでに、山海教授はどんなことをしましたか。

.....
.....
.....
..... [4]

(f) 山海教授の意見では、科学者はどんな考えかたを持つことが大切ですか。

.....
..... [2]

[合計点: 20]

セクション2

次の**文章**を読んで、**もんだい4、5**に答えなさい。

文章2

**えのぐ
絵具を使って楽しむ**

「赤、青、^{きいろ}黄色の^{えのぐ}絵具がありますが、どれがいいですか。」「アートの日」に絵画教室の先生が、^{ろうじん}老人ホームに住んでいる人にこえをかけました。

まず大きなマットを広げて、^{ろうじん}老人ホームのゆかをまもります。それから、その上に大きな紙をはります。和紙もありました。そして、お年よりはその上に、思い切り大きく絵をかきます。この^{ろうじん}老人ホームに住んでいる木田さんは、「こんなに大きくかくのは、^{ふつう}普通はなかなかできなくて、^{ほんとう}本当に楽しいです。何年も絵をかいていないのですが、自分の年をわすれて、作品を作ると、気持ち明るくなります。」と話していました。

5

山下さんは、秋の花の絵をかいていました。「私は絵をかくのが大好きです。小学生のときはいつも写生をしていました。^{ほんとう}本当になつかしいです。大学でもまんがやイラストをかいていました。少し若くなって、少し前の自分にもどったようです。この絵を見て、ほかの人もここにしています。そして、絵が^{にがて}苦手な人も話しかけてきました。みんな元気になったようでよかったです。」とえがおで話していました。

10

このプロジェクトは^{いし}医師のわたなべ先生が始めました。アメリカで見た^{さんこう}シンプルな活動を参考にしました。子どもが絵をかいて、その絵をはがきにして売って、学校のためにお金を集めていました。子どもたちが^{しゆみ}趣味を通して生き生きしているのを見たわたなべ先生は、「こんなにかんたんだったら、ぜひ^{ろうじん}老人ホームでも」と考えたそうです。

15

^{ろうじん}老人ホームに住んでいる人の家族は^{しゅうまつ}たいいてい週末にホームに遊びに来たいと思いますが、遠くに住んでいたり、仕事が忙しかったりして、なかなか来ることができないときもあります。また、お年よりが静かに休むことができるように、^{ろうじん}老人ホームがお客さんをことわることもあります。^{ろうじん}老人ホームに住んでいると、まわりに人がたくさんいますが、かんたんに外出できなくて、さびしくなってしまうこともあります。これからも「アートの日」がお年よりに楽しみをあたえるといいですね。

20

もんだい 4

ぶんしょう
文章2を読んで、下のしつもんに日本語で答えなさい。本文をそのまま書き写してはいけません。

([] 中の数字がそのもんだいの点数です。正しい日本語を書いたら、さらに、最高5点まで点数が上がります。合計点 : $15 + 5 = 20$)

(a) 「アートの日」を始めるまえに、どんなじゅんぴをしますか。

.....
..... [2]

(b) 木田さんは、「アートの日」について、どんなかんそうを持ちましたか。

.....
..... [3]

(c) 山下さんはどうして少し若くなった気がしたのですか。

.....
..... [2]

(d) 山下さんの絵を通して、まわりの人に、どんないいことがありましたか。

.....
..... [3]

(e) わたなべ先生は、どうして「ぜひ老人ホームでも」と思いましたか。

.....
..... [2]

(f) ろうじん
老人ホームに住んでいる人たちが、時々さびしくなるのは、どうしてですか。

.....
..... [3]

[合計点: 20]

もんだい 5

下の二つの点について、げんこう用紙に日本語で280字ぐらいで書きなさい。

([] 中の数字がそのもんだいの点数です。正しい日本語を書いたら、さらに、最高5点まで点数が上がります。合計点 : $15 + 5 = 20$)

(a) 年を取って、生活が不自由になってしまった人のために、社会全体でどうすることができますか。 [10]

(b) あなたの知り合いが、老人ホームろうじんに住んでいます。その人に会いに行くとき、どんなおみやげを持って行きますか。それはどうしてですか。 [5]

[合計点: 20]

5	10	15	20	25

Permission to reproduce items where third-party owned material protected by copyright is included has been sought and cleared where possible. Every reasonable effort has been made by the publisher (UCLES) to trace copyright holders, but if any items requiring clearance have unwittingly been included, the publisher will be pleased to make amends at the earliest possible opportunity.

To avoid the issue of disclosure of answer-related information to candidates, all copyright acknowledgements are reproduced online in the Cambridge Assessment International Education Copyright Acknowledgements Booklet. This is produced for each series of examinations and is freely available to download at www.cambridgeinternational.org after the live examination series.

Cambridge Assessment International Education is part of the Cambridge Assessment Group. Cambridge Assessment is the brand name of the University of Cambridge Local Examinations Syndicate (UCLES), which itself is a department of the University of Cambridge.